

ふるさと納税なら、奈良

奈良の文化財を、ともに次の世代へ

「大和は国のまほろば」と謳われ、奥深い歴史と自然の美しさに包まれ、国のルーツが残る奈良。その奈良にある数々の文化財は、今日まで長い歴史を刻んでおり、未来へと大切に受け継いでいくべきものです。しかし、文化財の保存活用には多大な資金が必要となります。

文化財の保存活用のために寄せられた寄付金は、保存活用事業の資金として活用されますので、奈良の文化財をともに次の世代へ継承するためのご支援をお願い申し上げます。

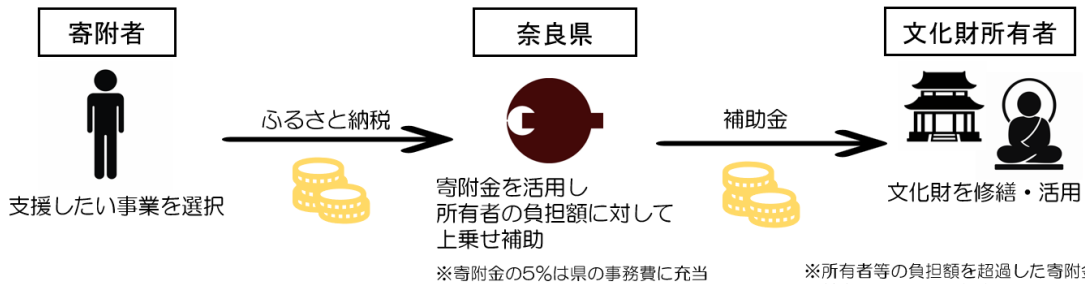
奈良のふるさと文化財応援プロジェクト

個人によるふるさと納税

寄附金の流れ

文化財の保存活用等事業において、ふるさと納税による寄附額のうち事務手数料等の額を控除した額を、県が通常の補助に上乗せして補助する制度です。

※奈良のふるさと文化財応援プロジェクトについては、**お礼品はありません。**



寄附の手順

手順①

事業を選ぶ

事業内容から、支援したい事業を選びます。

手順②

寄付支援を申し込む

お支払い方法などの情報を入力します。

手順③

寄付の証明書を受け取る

自治体から、寄付の証明書が送付されるので、なくさないよう保管してください。

手順④

確定申告をする

受け取った寄付の証明書を確定申告時に提出すれば税金が控除されます。※ワンストップ特例制度適用時は確定申告不要



制度について詳しくはこちら

寄附の方法

下記もしくは右QRコードの「さとふるクラウドファンディング」ホームページへアクセスし寄附を行いたい事業の案内ページから寄附を申し込みください。

URL <https://www.satofull.jp/projects/top.php>

さとふるクラウドファンディング



案内ページはこちら

令和8年度に行っている事業

■ 建造物 ■ 民俗文化財 ■ 美術工芸 ■ 史跡・名勝

1 重文 宇奈多理座高御魂神社本殿 建造物保存修理事業



国指定

室町時代前期の建立とされる本殿は、前回修理より42年が経過し、屋根檜皮や木部塗装の経年劣化が進んでいたため、保存修理を行っています。令和8年度は修理用覆屋の解体及び土間三和土の補修を行う予定です。

事業期間 R6～R8年度
R8年寄附目標額 100万円

3 重文 吉野神宮本殿ほか25棟 防災施設整備事業



国指定

後醍醐天皇を祀る神社として、明治中期に創建されました。建物を接続してできた複雑な屋根構成により、豊かな社頭景観をつくっています。
令和8年度は、昨年度に引き続き境内全域の防災工事を実施する予定です。

事業期間 R7～R8年度
R8年寄附目標額 2,200万円

5 高良神社本殿 防災施設整備事業



県指定

室町後期の春日造社殿で、令和7年3月に県指定となりました。類例の少ない吹寄垂木や厚板葺であったことが分かる、春日造社殿の展開を示す貴重な遺構です。
指定文化財となったことから、防災設備の設置工事を実施する予定です。

事業期間 R8年度
R8年寄附目標額 64万円

7 海神社本殿 建造物保存修理事業



県指定

江戸時代前期建立。檜皮の腐朽や塗装の剥落が酷く、保存修理を進めています。修理内容は、屋根檜皮の全面葺替、木部の一部補修、彩色部分を除く塗替です。
令和8年度は、縁などの木部の補修と単色塗り塗装を行う予定です。

事業期間 R6～R9年度
R8年寄附目標額 600万円

9 天照寺薬師堂 建造物保存修理事業



県指定

天正12年（1584）建立の建物です。小屋組の材料は当初の材がよく残っており、当初から茅葺であったことが分かっています。
指定から初の全面屋根葺き替え修理を実施しており、令和8年度は詳細の寸法、仕様、材料等を決定し設計図書を作成予定です。

事業期間 R8～R10年度
R8年寄附目標額 200万円

11 重文 玉置神社社務所及び台所 建造物保存修理事業



国指定

近年、「神様によばれないとたどり着けない神社」として話題になっている玉置神社では、重要文化財玉置神社社務所及び台所の解体修理を行っており、令和8年度は軒廻り、小屋組、軸組の解体を行う予定です。

事業期間 R3～R11年度
R8年寄附目標額 1,300万円

13 波宝神社本殿 建造物保存修理事業



県指定

当神社は五條市西吉野の銀峯山に鎮座し、寛文12年（1672）建立の春日造社殿2棟を並立した貴重な文化財建造物です。令和8年度は主に素屋根建設を予定しています。それ以降は檜皮屋根葺替、彩色塗装塗替を予定しています。

事業期間 R8～R11年度
R8年寄附目標額 506万円

2 重文 博西神社本殿 危険木対策事業



国指定

春日造の社殿が二社並び、左右に連結する形式は数少なく、室町時代末期頃の建物です。微高地を切り開いた土地に建ち、西面及び南面の斜面地の高木群が近接しており、強風時の倒木被害の危険性を抑えるために、危険木を伐採する事業を実施しています。

事業期間 R8年度
R8年寄附目標額 44万円

4 多坐弥志理都比古神社本殿 建造物保存修理事業



県指定

古事記編纂で著名な太安万侶を輩出した多氏ゆかりの神社です。本殿は江戸中期の建立で、現在解体修理を行っています。令和8年度は事業の最終年度であり、単色塗り、素屋根解体、土間復旧、排水溝整備、防災設備復旧を予定しています。

事業期間 R3～R8年度
R8年寄附目標額 4,542万円

6 重文 夜支布山口神社摂社立磐神社本殿 防災施設整備事業



国指定

社殿は延享四年（1747年）に春日大社の第四殿を移したもので、江戸時代中期の春日造の様子をよく伝えています。檜皮葺き屋根を火災から守る為に、自動火災報知設備、消火設備等の防災設備の改修を行います。

事業期間 R8年度
R8年寄附目標額 551万円

8 国宝 金峯山寺二王門 建造物保存修理事業



国指定

「太平記」にみられる吉野郡最古の建造物で、棟高20m近い大きな門です。基礎の沈下が大きく、屋根や木部も傷んでいたため、解体修理を実施しています。令和8年度は木部修繕と組立工事、並行して耐震補強工事、取替えが必要な瓦の製作を進めます。

事業期間 R2～R10年度
R8年寄附目標額 5,402万円

10 重文 中家住宅主屋 建造物保存修理事業



国指定

中家住宅主屋は、大和棟と呼ばれる茅葺と瓦葺が重なり合う美しい屋根を見せていましたが、令和6年に隣家からの飛び火によって茅葺屋根が焼失するなど大きな被害を受けました。現在、火災前の姿に復旧する工事を行っています。

事業期間 R6～R10年度
R8年寄附目標額 448万円

12 龍穴神社本殿 建造物保存修理事業



県指定

渓流にある岩窟は龍神の棲む龍穴として伝わり、本殿は江戸時代の春日若宮神社旧本殿を移築したものです。檜皮葺屋根の腐朽や部材の損傷について、屋根葺替、塗装及び部分修理を行います。令和8年度は木工事、基壇工事、屋根工事の一部を実施予定です。

事業期間 R7～R10年度
R8年寄附目標額 622万円

14 重文 長谷寺本坊大講堂ほか7棟 建造物保存修理事業



国指定

本坊は各建物とも建立後100年が経過し、瓦の破損や雨漏りが生じているため、大規模な屋根葺替及び部分修理を行っています。令和8年度は、本堂の小屋組補修、大講堂の屋根解体工事、護摩堂の屋根工事を予定しています。

事業期間 R3～R11年度
R8年寄附目標額 1億878万円